

研究タイトル:

アートや地域連携による建築デザイン教育



氏名: 高増 佳子 / TAKAMASU Yoshiko E-mail: takamasu@yonago-k.ac.jp

職名: 教授 学位: 修士(生活科学)

所属学会・協会: 日本建築学会

キーワード: 建築デザイン教育、空き家活用、アーティスト・イン・レジデンス

技術相談
提供可能技術: 学生参加による建築デザイン・セルフビルド、子ども対象の建築ワークショップ

研究内容:

実際の建築デザインを学生の教材として一緒に取り組み、一部学生ともセルフビルドを行うなど、地域の様々な方々や建築専門家、アーティストなどとも連携をとりながら建築デザイン実習活動を行っています。

2013 年からは、米子市内の空き家や空き地、中海周辺、また郊外の遊休農地などでアーティスト・イン・レジデンスの AIR475(エアヨナゴ)プロジェクトで作品づくりをはじめとした場所づくりに取り組んできました。またそこで地域課題としてみえてきた遊休農地に繁茂するセイタカアワダチソウの価値を見だし、物質工学科(化学・バイオ部門)青木研究室とも共同して、セイタカアワダチソウの商品化を目指した調査研究に着手し、さらに地域の方々と協働するまちなかの研究室「野波屋」を空き店舗活用としてもオープンさせました。



AIR475 2015 カーン・リー作品



野波屋改修作業の学生



改修後 オープニングイベント時

その他、これまでも以下のような、学生と地域が協同して行う建築デザインの実例がいくつかあります。

担当科目	3 年製図, 4 年 CAD・CG, 5 年建築意匠論, 専攻科 1 年建築設計製図
過去の実績	・米子自動車学校のトイレ改修計画 高増研究室 2011 年 12 月竣工 ・鳥の劇場内小さなギャラリー 設計施工協力 高増研究室 2012 年 9 月竣工 ・岩倉ふらっと シェアハウス+地域交流スペース 2013 年 11 月竣工
近年の業績 (研究・教育論文、特許含む)	・高増佳子・遠藤貴子・来間直樹、学生がつくり住まう町家 日本建築学会 2014 年大会・建築デザイン発表会「未来のまちや」、2014 年 * 招待講評者・貝島桃代によるポスター賞受賞 ・高増佳子・来間直樹、AIR475(エアヨナゴ)アートプロジェクトにおける街中展示と仕掛け 日本建築学会 2015 年大会・建築デザイン発表会「場所と流れ」、2015 年 ・高増佳子・奥矢恵、着せ替えドミノ ワークショップ JIA ゴールデンキューブ賞 2016/2017、出版部門・優秀賞、2016 年